

第 2 回あま市本庁舎基本設計委員会会議録要旨

■日 時 平成 29 年 2 月 10 日（金）午後 2 時から午後 3 時 50 分まで

■場 所 あま市役所本庁舎 3 階 特別会議室

■出席者等

（委 員） 15 名

（事務局） 9 名

（傍聴者） 7 名

（その他） 6 名

議 事

■議題

(1) 第 1 回基本設計委員会のおさらい

(2) 設計主旨・コンセプト（案）

(3) 設計条件の検討・整理すべき事項

【説明内容】

事務局より資料 1 の内容について説明

【主な意見等】

委 員： 新庁舎は、バリアフリー法の基準に適合した建物になるのか。

事務局： お見込みのとおり。

委 員： 保健センター機能等の重複機能の集約とあるが、新庁舎に保健センターが入るのか。保健センターは、1 か所に集約するよりも従来通り 3 地域に残して運用した方が、個人的には良いと考える。

事務局： 新庁舎整備に伴う分散機能集約分の 1 つとして、保健センター機能等の集約を検討している。

委 員： 設計条件・課題にある「防災活力連携拠点としての活用機能」と「平時からの市民の防災意識を高めるための意識啓発や情報発信が重要」の項目は、検討・整理事項のどの項目で整理していくのか。

事務局： 検討・整理事項の「①備えるべき防災機能の検討」と「②市地域防災計画の検討」の中で今後整理していく。

委 員： 設計主旨・コンセプトとして、あま市が市民をどのように迎え、どんなホスピタリティを与えるか検討する必要がある。

事務局： 今後の検討課題として整理していく。

委 員： 検討・整理事項の「⑦県道及び外周道路の整備検討」と「⑧来庁アクセス道路の検討」について、近隣住民として交通量の増加に伴う影響を懸念している。新庁舎を利用する 1 日の自動車想定台数は、どの

程度か。

事務局： 周辺道路事情を十分考慮し、周辺道路整備計画について検討を進め交通整序に努めていく。新庁舎では、現在 750 台程度を想定している。

委員： 検討・整理事項の「⑫ワンストップサービスの実現」は、庁舎設計の検討とともに、その実現に向けて市役所の組織体制にも関連するため、併せて検討をしてほしい。

事務局： 今後の検討課題として整理していく。

委員： 新庁舎は、市民の交流拠点として市民と行政が協働するという視点を持つ必要がある。

(4) 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

①想定すべき災害リスク及び造成計画の検討

②耐震計画の検討

③周辺道路計画の検討

【説明内容】

事務局より資料 1 の内容について説明

【主な意見等】

委員： 周辺道路について、敷地北東角の交差点右折帯の道路計画は、どのようになっているか。

事務局： 県道（南北方向）については、右折帯を設ける計画とし、市道については、右折帯を設けない計画としている。

委員： 敷地盛土高さ TP+2.2m の根拠は。

事務局： 盛土高さ TP+2.2m の根拠としては、あま市洪水ハザードマップより庄内川の最大浸水位の TP+1.035m に対して、+1.0m 程度の余裕高を考慮した TP+2.2m に設定した。

また、この高さは、平成 28 年 12 月公表の木曾川の想定し得る最大規模の降雨による浸水深さにも対応している。

委員： 県道は、朝晩の交通量が非常に多く、渋滞も日常的に発生しているので、敷地周辺のみでの道路整備でなく、広域的に県道整備を進めてほしい。北側の市道についても、スムーズに相互通行できるよう整備してほしい。

また、敷地東側に広場を配置する計画のため、広場から県道への子供の飛び出しなどが予見されるので、安全対策が必要である。

事務局： 県道については、渋滞の解消に向け引き続き道路管理者である愛知県や警察と協議を進めていく。市道沖之島篠田線については、車道 2 車線の整備計画としている。

また、広場に関する安全対策については、今後の検討課題として整理していく。

- 委員： 想定地震被害（断層、液状化）について、本市において活断層はありませんと記載があるが、その意味は。
- 事務局： あま市には、確認される活断層はない。広域での断層による地震影響度の評価は、今後設計の中で検討していく。
- 委員： あま市は、液状化についても深刻な被害が予想されるが、東日本大震災の浦安市の事例を踏まえ、新庁舎設計に活かしてほしい。
- 敷地のみならず、災害時の緊急車両通行に大切な主要周辺道路の液状化対策も、今後の課題として、県や周辺自治体と連携しながら検討してほしい。繰り返し起こる地震が建物に及ぼす影響についても検討課題としてほしい。
- また、建物耐震構造の検討表中、経済性欄の「コスト指標＝1.0」については、庁舎に対する重要度係数を含めた形で免震構造のコスト指標を1.1としているのか。
- 事務局： 重要度係数を考慮した上で、耐震構造と免震構造のコスト指標を比較算定している。
- 委員： 今回の道路整備計画において、県道は、「自歩道」と、市道は、「歩道」という表記になっており、自転車の交通処理の考え方は。
- 事務局： 道路構造令で基準となる3mを境に現時点は表記している。歩行者と自転車の交通処理については、今後の検討課題として整理していく。

(4) 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

④市民ミーティングの報告（配置計画の検討）

【説明内容】

事務局より資料1の内容について説明

【主な意見等】

- 委員： 配置計画の中で駐輪場はどのあたりに計画される予定か。
- 事務局： 現時点において具体的に決定していないが、敷地北東角の交差点から近い位置を検討している。今後の設計の中で整理していく。
- 委員： 前回の市民ミーティングでイメージモデルの提示があった。この配置案に表現されていないスロープ等もあったが、現在検討中ということか。
- 事務局： お見込みのとおり。市民ミーティングで提示したイメージモデルについては、現時点でのイメージをより分かりやすくするために作成したものであり、詳細な配置については、今後検討していく。
- 委員： 市民ミーティングの意見を経て決定した配置計画では、北側から出入りする計画となっているが、敷地東側の県道から出入りする計画はないのか。
- 事務局： 当初の基本構想・基本計画では、県道から出入りする計画であった

が、県警協議、県道交通量、交通処理、安全確保の観点から、敷地北東角の交差点を利用したメイン出入口を敷地北側市道に設置し、交通整序に努めていく。

委員： 広場と庁舎をうまく繋ぎ連動させることが、配置計画としてとても大切な要素となる。また、市民ミーティングの成果として、市民意見を取り入れた「あますごろく」は、大変素晴らしい。今後あま市を宣伝するツールとして上手に活用してほしい。

委員： 新庁舎に市民が飲食できるスペース等を設ける計画はあるか。

事務局： 市民ミーティングでも頂いた意見であり、今後の検討課題として整理していく。

委員： 市民ミーティングで作成された「あますごろく」や市民意見をまとめた「提案ダイアグラム」は、非常に素晴らしいものになっている。

この素晴らしい意見をもとに、設計を進める中で、行政としてどういう青写真を描いていくかをしっかりと検討してほしい。

また、ヘリポートの活用方法について教えてほしい。

事務局： ヘリポートは、災害などの緊急時において、緊急輸送等に使用する防災対応離着陸場という位置付けで今回整理している。

委員： 今回の市民ミーティングで得られた成果を、この庁舎だけでなく、今後のあま市の行政運営に活用していただき、若い人たちがあま市に住みたいと思えるまちづくりを期待している。

委員： C案の配置計画をベースに今後の配置計画が進むため、広場の使い方について、ボール遊びが出来るか、また自然豊かな広場にするのか等、広場の使い方について、安全性を重視して進めてほしい。

委員： 広場の使い方や高圧線の影響について、市民ミーティングでも様々な意見が出ていたので、その意見を踏まえ今後検討を進めてほしい。

事務局： 今後の検討課題として整理していく。

委員： 立体駐車場の計画について、敷地面積減少に伴う駐車台数確保以外の利用を想定しているか。

事務局： 立体駐車場計画は、第1に、防災庁舎としての機能確保対応のため、高盛土による法面処理及び周辺道路の拡幅整備に必要となる面積が、当初計画の敷地面積から大幅に増加したことにより、計画で定めた敷地配分を見直す必要が生じたため、駐車場の一部を立体駐車場として再計画する。

第2に、中枢防災拠点における「救援物資の中継分配機能」施設とし、非常時における物資の一時的な保管、トラック積み替えなどの作業空間として活用することを想定している。

(5) 中間とりまとめ（案）

【説明内容】

事務局より資料 2 の内容について説明

【主な意見等】

委員： パブリックコメントの資料とともに、今回市民ミーティングで利用したイメージ模型の展示やイメージ模型の写真を掲載してはどうか

事務局： 今後の検討課題として整理していく。